

平成25年度当初予算

支出の内訳

支出（歳出予算）については、その内容を民生費や土木費などの目的別に分ける方法と、人件費、公債費などの性質別に分ける方法があります。その2つの方法で分けてみると、本市の予算がどのようなものに使われ、どのような支出が多いのかが分かります。

総額 275.2億円

●目的別の使い道

民生費[136.7億円]

生活保護費や子育て支援、高齢者の医療・福祉の充実などに使われます。

土木費[28.5億円]

道路や公園、市営住宅などの整備や維持管理に使われます。

公債費[28.4億円]

道路や公園、市営住宅などを整備するときに借りたお金の返済に使われます。

衛生費[23.0億円]

ごみの収集や処理、し尿処理、医療や健康づくりなどに使われます。

教育費[19.6億円]

小中学校や図書館、公民館やスポーツ施設などの管理・運営などに使われます。

総務費[19.5億円]

庁舎の管理や広報の発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

消防費[7.3億円]

消防署への負担金や消防団の運営、消防車の整備などに使われます。

農林業費[4.6億円]

農道や農業用水路の整備・管理、農林業の振興・発展のために使われます。

商工費[4.3億円]

商店街や中小企業の支援、企業や観光客の誘致などに使われます。

議会費[2.4億円]

市議会の運営のために使われます。

労働費[0.5億円]

失業者の相談を受けたり、働く場所をつくったりするためなどに使われます。

その他[0.3億円]

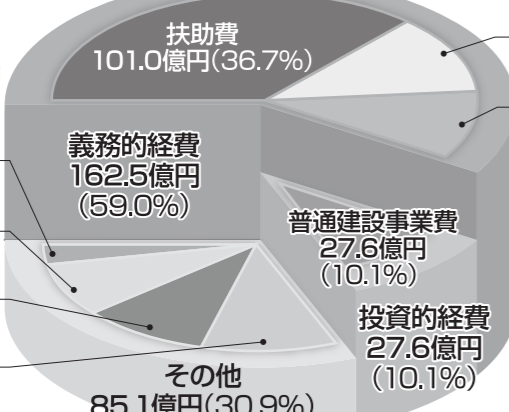
災害など緊急時に対応するために使われる予備費などです。

上のように、生活保護や福祉サービスなどにかかる民生費が、予算全体の半分程度を占めていることが分かります。

●性質別の使い道



その他 7.8億円(2.8%)
繰出金 22.9億円(8.3%)
補助費等 26.0億円(9.5%)
物件費 28.4億円(10.3%)



人件費 33.0億円(12.0%)
公債費 28.4億円(10.3%)

- 扶助費 生活困窮者や子ども、高齢者、障害者などを援助するために使われます。
- 補助費等 公営企業会計（水道・病院）への負担や、各種団体への助成などに使われます。
- 繰出金 国民健康保険や急患医療といった特別会計の事務費などを援助するために使われます。
- 普通建設事業費 道路や公園、学校やスポーツ施設などを整備するために使われます。

上のグラフのとおり、扶助費や人件費といった義務的経費の割合が約6割と高くなっています。これは自由に使えるお金が少ないということで、新しい市民サービスや公共施設の整備が難しくなっているといえます。

市の予算

市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類に分かれており、それぞれでその収支を管理しています。

一般会計

市で一番大きい会計で、福祉・子育て、学校の運営や道路整備などまちづくりに必要なさまざまなお金を経理しています。

特別会計

収入や使い道などをはっきりさせるために、一般会計とは別に経理しています。田川市には、「国民健康保険」、「急患医療」など全部で5つの特別会計があります。

公営企業会計

普通の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っている会計です。田川市には、「水道」と「病院」の2つの公営企業会計があります。

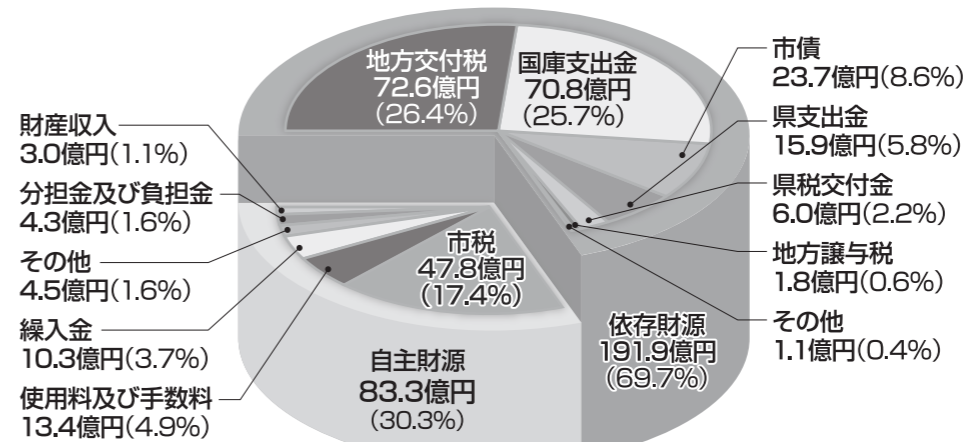
一般会計

最初に、みなさんに一番身近で金額が一番大きい一般会計について説明します。

収入の内訳

市が、さまざまな市民サービスを行うために集める収入（歳入予算）の状況です。なお、この収入は、大きく自主財源と依存財源の2つに分けることができます。

総額 275.2億円



上のグラフのとおり、本市では、国や県からの依存財源の割合が収入の約7割と多くを占めているため、国の動向によって財政状況が大きく左右されます。

- 自主財源 みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、田川市が自主的に財源として集めることができる収入です。
- 依存財源 福祉サービスや道路、施設をつくるなど国や県からもらう補助金や、国が集めた税金を配分する地方交付税、市の借金である市債などの収入です。これらは、国や県などから受け取るため、税などの自主財源に対して依存財源といわれます。

第5次総合計画事業

将来像

ひとを育て自然と産業が
共に息づくまち田川

活力ある
ものづくり産業都市を目指して

田川市では、本市をより住みやすく、より魅力的なまちにするため、第5次総合計画の中で将来像を定め、その実現に必要な事業を「総合計画事業」として推進しています。

平成25年度の当初予算275.2億円のうち、総合計画事業は47.2億円であり、全体の約17%となっています。総合計画事業の分野ごとの事業費と主な事業は次のとおりです。



都市づくり(11.2億円)

- 自然豊かで安全・快適に暮らせるまちをつくる
- 街路整備事業
- バス路線維持充実対策事業
- 移住・定住等住まい助成事業など

産業・経済(3.4億円)

- 環境にやさしく魅力あふれる産業を育てる
- 農業経営基盤強化促進対策事業
- 商店街振興対策事業
- 企業誘致事業など

医療・福祉(24.7億円)

- 誰もが健やかに安心して暮らせるまちをつくる
- 病院群輪番制事業・在宅当番制事業
- 病児・病後児保育施設建設事業
- 重度障がい者医療費助成事業など

教育・文化(7.2億円)

- 郷土を愛し豊かな心と創造力を育てる
- 少人数学級推進事業
- 休日学習推進事業
- 世界記憶遺産センター整備事業など

行財政運営(0.7億円)

- 市民と共に歩む「なわやか」なまちをつくる
- 地域活動活性化事業
- 情報システム最適化推進事業
- 広報事業など